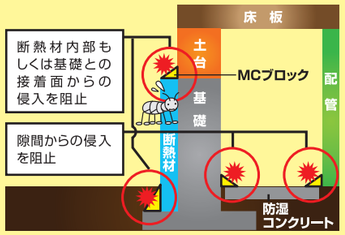
■ 基礎断熱工法住宅にも最適

基礎断熱工法の場合、断熱材が地中まで埋まっているため、地中で活動するシロアリを招き入れやすくなります。基礎断熱材周辺の処理だけでなく、基礎立ち上がりや配管周囲への処理も加えると効果的です。

MCブロックの効果的な施工場所

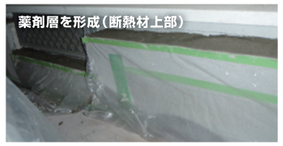


基礎断熱材を撤去することで顕在化した蟻道

基礎断熱工法住宅の施工例

断熱材の下部・上部に薬剤層を形成することでシロアリの侵入を阻止します。また、既築時は断熱材上部をカットし薬剤層を形成する事例もあります。

写真：（株）三陸くんじょう様 ご提供



写真：（株）テオリアハウスクリニック様 ご提供

■ タケロックMCブロック 性能試験/防蟻効力

試験機関：近畿大学農学部

■ 防蟻効力試験結果（室内試験）

試験法：（公社）日本木材保存協会規格（JWPS-TW-S-S）
土壌処理用防蟻剤等の防蟻効力試験法および性能基準

土壌		穿孔距離（mm） 耐候操作/あり	穿孔距離（mm） 耐候操作/なし	備考
処理土壌	1	0	0	3日以内に全頭死亡
	2	0	0	3日以内に全頭死亡
	3	0	0	3日以内に全頭死亡
無処理土壌	1	50	50	1日以内に貫通
	2	50	50	1日以内に貫通
	3	50	50	1日以内に貫通

合格基準は穿孔距離が全て10mm未満でかつ全頭死亡

■ 防蟻効力試験結果（野外試験）

試験法：（公社）日本木材保存協会規格第13号（1992）
土壌処理用防蟻剤等の防蟻効力試験法および性能基準

土壌	木材片の食害の有無 1年目	木材片の食害の有無 2年目	備考
処理土壌	0／5（食害なし）	0／5（食害なし）	食害数／総数
無処理土壌	5／5（食害あり）	5／5（食害あり）	

合格基準は2年間食害なし

弊社のシロアリ防除剤についての詳細はホームページをご覧ください。

人と環境にやさしく、わが家をしっかり守るシロアリ対策　シロアリ情報club　https://www.shiroari-kujyo.jp/

製造販売：

みつける、こたえる、かなえる ケミカル

大阪ガスケミカル株式会社

0120-124-123　平日9：00～17：30（土日祝日・その他当社休業日を除く）

FAX　06-4393-0054

ホームページ　https://www.shiroari-kujyo.jp/

〒550-0023　大阪市西区千代崎三丁目南2番37号 ドームシティガスビル

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町二丁目6番1号 日本橋本町プラザビル4階

Daigas Group　大阪ガスグループは、Daigasグループへ。

■提携先 AkzoNobel

タケロック/TAKELOCKは大阪ガスケミカル（株）の登録商標です。

お問い合わせ・ご用命は

No.88 2023.11 800 Ⓗ

「水で固めてガッチリ防ぐ。」

新タイプのシロアリ防除剤

水硬化型シロアリ防除用土壌処理剤

タケロック® MCブロック

（公社）日本しろあり対策協会認定薬剤（登録番号 第3498号）
（公社）日本木材保存協会認定薬剤（認定番号 A-4230）
（公財）文化財虫菌害研究所認定薬剤（登録番号 第25号）

大阪ガスケミカル株式会社

固まってシロアリの侵入路をブロックし
クロチアニジンで殺蟻する
新しいタイプの防蟻剤です。

物理的防除　固まってシロアリの侵入路をブロック!

水で固める【水硬化型防除剤】

施工前にモルタルのように水を混練すれば、固化した防蟻層が形成されます。

コテで塗れて補修もカンタン

あらかじめ混錬すれば、粉立ちもなく、コテでの施工が可能です。補修も、割れたり剥がれた部分を埋めるだけ。

処理層が壊れにくい

作業後の不可抗力で処理層が崩れたり、流水等により流れません。また、環境中への放出がほとんどありません。

多様な形状に加工可能

多様な形状に加工できるため、土壌処理以外の用途へ使用できます。

化学的防除　クロチアニジン含有マイクロカプセル剤

クロチアニジンの【マイクロカプセル剤】を配合

MCブロック用に特に設計したカプセルは、耐アルカリ性に優れ、直接コンクリートに流してもOK!

極低臭

臭いがほとんどありません。また、有効成分のクロチアニジンは、安全性に優れ、ほとんど揮散しません。

混練固化型

シロアリ防除用土壌処理剤

タケロック® MCブロック

モルタルのように水と混練して施工します。
泡立ちが無く、コテで壁を塗るように施工できます。

MCブロックイメージ

取扱いは専門業者におまかせください。

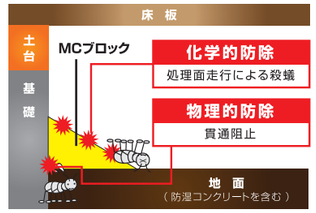
2つの防除で、シロアリをダブルブロック!

■ 防蟻方法と効果

シロアリの侵入路を固めて「物理的防除」し、処理面のクロチアニジンが「化学的防除」。
ダブルブロックで、ガッチリ防除します。

性　状

有効成分：クロチアニジン(0.05%)
剤　　型：粉粒剤
外　　観：灰色の粉末
梱包容量：10kg
p　　H：11～13(水で2倍に分散時)



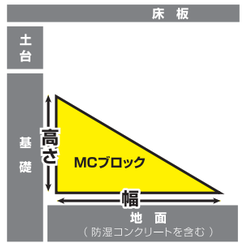
防除イメージ図

■ 使用方法

基礎の内側、束石、配管の立ち上がり、側壁際から帯状に薬剤を処理します。

処理の箇所	処理層サイズ	乾燥重量(g/m)	1袋あたりのm数
布基礎打設後の土壌	幅10cm×高さ3cm	1100～1500	6.6m～12.5m
土間コンクリート打設前の土壌	幅3cm×高さ3cm	650～800	12.5m～15.4m
ベタ基礎・土間コンクリート打設後のコンクリート	幅3cm×高さ3cm	500～600	16.6m～20m

＊(公社)日本しろあり対策協会、(公社)日本木材保存協会および(公財)文化財虫菌害研究所の認定は幅20cmで取得しています。
＊別途、土台・大引・根太・柱など木部への防蟻処理を行ってください。
＊再施工について：旧処置層を撤去する場合は、上記使用方法で再処理してください。旧処置層を撤去しない場合は、処理面にタケロックMCブロックを5mm厚で上乗せするか、タケロックMC50スーパーを散布してください。



施工イメージ図

施工手順（水により混練後使用します。）

① 施工前の準備

② タケロックMCブロックに対して20%の水を用意します。

③ MCブロックを取り出す

④ 水を攪拌しながら

⑤ タケロックMCブロックを投入

⑥ MCブロックを攪拌

⑦ 容器に小分け

⑧ 小分け終了

※必ず、水の中にタケロックMCブロックを投入してください。

処理後の状態

① 基礎立ち上がり(コテで転圧)

② 基礎立ち上がり(完成)

③ 配管周り(完成)

使用上の注意

①ハンドミキサーなどを使用し、均一に混錬してください。②コーナー部や壁面などの境界部は念入りに充填してください。③水を加えたらその日のうちに使い切ってください。④玄関口、勝手口はコンクリート施工の前に土壌処理を行ってください。土壌処理後はビニールシートを処理面に敷いたあと、コンクリート施工を行ってください。⑤施工後は約1日養生させ、十分に乾燥させてください。⑥残ったタケロックMCブロックは、湿気が入らないようにしっかり密閉し、直置きせずにパレット上に置くなど、湿気を避けて保管してください。